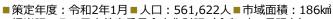




八王子市【東京都】 歴史文化基本構想



■担当課:八王子市教育委員会文化財課(令和2年3月現在)



八王子市は豊かな自然のもと、養蚕業や絹産業を背景に発展し、合併により生まれた広大な市域では地域 ごとに特色ある歴史文化が育まれている。こうした八王子の歴史文化を特徴づける10の関連文化財群を設 定し、「はちおうじ物語」と名付けた。本構想を「ふるさと八王子」の未来を築く"道しるべ"として、市 民とともに「歴史文化を活かしたまちづくり」を進めていく。

5 歴史文化を表すつのキーワード

北条氏照と滝山城・八王子城、八王子宿と千人同心、 織物のまち、高尾山、祭りと伝統芸能

課題

- ・文化財とその周辺環境の保存・活用と継承
- ・文化財関連施設等のさらなる活用
- ・行政と地域との連携

保存活用方針

- ・文化財の継続的な調査・研究と適切な保存・管理
- ・文化財の担い手の育成・支援
- ・文化財の普及・啓発・活用
- ・歴史文化資源を活用したまちづくりの推進

保存活用のための取り組み

文化財の適切な保存・管理

国指定史跡の八王子城跡について、「八王子城跡 保存整備基本構想・基本計画」に基づき計画的に 保存・整備・活用を図っている。また、令和元年

度に調査報告書を作成した国選 択無形民俗文化財の八王子車人 形について、今後も調査・研究 を継続していく。



文化財関連施設の活用ー郷土資料館の展示と体験学習

原始・古代から近現代までの歴史・民俗資料など を調査・研究・収集・展示し、郷土の魅力ある歴 史・文化を学ぶ場として、また、広く情報発信す

る拠点として様々な事業を行っている。体験プログラムとして「火おこし体験と縄文土器づくり」などを実施している。



講座・公演・体験型事業の実施

八王子市の歴史文化について理解を深めるため、 市内に残る原始・古代から近現代までの文化財を 見て歩く文化財見て歩き事業や、八王子の伝統文

化・芸能にふれ、体験する伝 統文化ふれあい事業などを実 施している。



関連文化財群の活用と歴史文化 資源の価値の共有

八王子市の歴史文化を「知り、学び、活かし、つ なげる」きっかけにするため、学校教育・生涯学 習の教材、郷土資料館・図書館などの企画テーマ

の素材などに活用し、ふるさ とへの誇りや愛着の醸成、地 域コミュニティの活性化、ま ちのにぎわい創出につなげる。



関連文化財群「はちおうじ物語」



八王子の歴史文化を物語る「テーマ」と 「ストーリー」を組み立て、関係する文 化財と周辺環境を一体的に捉えた「関連 文化財群」を設定した。この関連文化財 群を「はちおうじ物語」と名付け、市民 にとって親しみやすいものとすることで 共有を図り、文化財の保存・活用につな げていく。

ストーリー

- ●原始・古代の人々はどんな暮らしをし ていた?
- ②いにしえの道は何をもたらした?
- ③武士たちがまちに遺したものは?
- 4千人同心はどのような文化を育んだ?
- ⑤なぜ "桑都"と呼ばれるようになった?
- 6絹の道が生糸の他に運んだものは?
- **▽里の景観や文化はどのように受け継が** れている?
- ⑧高尾山はなぜ世界中の人々を惹きつけ るのか?
- ②どのような思いで伝統文化やお祭りは 受け継がれている?
- ⑩地名や石碑にはどんな思いが刻まれて いる?

▮ 策定後の成果(見込まれる効果)

 \mathcal{O} 活 用 0

地域の祭りや年中行事、 地域で大切に継承されて きた伝統芸能について、 その中核を担ってきた **財** 人々だけでなく、これま で関わってこなかった 人々にも参加や鑑賞する 機会を設けていくことで、 歴史文化資源が地域共有 の財産であるという意識 と、年中行事や伝統芸能 に参画する意識の醸成に つながる。

意識 醸 成



地 域 0

本構想でまとめた「はち おうじ物語」に加え、令 和2年度に日本遺産に認 定されたストーリーの活 用、そして、今後、本構 想に基づいた取組を展開 するために作成する「文 化財保存活用地域計画し に基づき具体的な事業を 柔軟に推進することによ り、生涯学習活動や市民 活動を通じて地域の活性 化に寄与する。

活 性

文 財 0 存 活 用 0 好 循

環

市民一人ひとりの歴史文 化資源に対する意識を醸 成することで、様々な主 体が連携した文化財の保 存と活用の好循環を創出 し、持続可能な保存・活 用のしくみ、体制づくり につなげる。また、この 取組が歴史文化資源に対 するさらなる意識の高ま り、本市への誇りと愛着 の醸成へとつながること が期待される。

